

# 市道認定、参拝しやすく

関係者らが開通式

野川神明社の境内前の新道が正式に市道として認定され、6月22日に開通。一般交通が可能とな

なった。7月1日には関係者らが集い、開通式を開催。テープカットで祝つた。

同神社顧問の小泉一

郎さんは「多くの方の協力で立派なものが完成した」と喜びを語った。来賓として出席した高橋哲也区長は「歴史がある故に工事には課題も多かつた。関係者が一つひとつ解決して実現したことに感謝している」とあいさつした。

新道開通をテープカットで祝う関係者ら

長年の地元の懸案  
道路付け替え実現

野川神明社は昨年度、「天皇陛下御大典

境内の中を市道が走り、道幅が狭く参拝のにくさが地元の長年の懸案だった。新道の地権者の厚意により、川崎市に敷地が寄付され道路付け替え工事が実現。新道は道幅も広く、市道の入り口から本殿までが直線となり、より参拝しやすくなつた。境内の中のこれまでの市道は廃止となる。同事業実行委員長の松井一夫さんは「事故のないよう、安全に通行してほしい」と話



新設された市道



矢沢議員